

第1回 南幌町総合計画策定審議会<議事概要録>

日 時 平成28年2月17日(水)
14時30分から15時40分
場 所 役場3階 各種委員会室

【出席者】

委 員：14名 佐々木会長、小松副会長、伊藤委員、小野田委員、
川西委員、小林委員、作間委員、三步委員、
清水委員、清野委員、千成委員、田中委員
本橋委員、和田委員
町 : 7名 三好町長、小林副町長、森課長、渡部主幹、
舩館主査、古谷主事、山中主事

【欠席者】

委 員： 1名 小友委員

1 開 会 事務局	本日はお忙しい中、出席いただきましてありがとうございます。第1回南幌町総合計画策定審議会を開催いたします。小友委員につきましては欠席でございます。初めに、委嘱状の交付を行います。委員の皆さんの席を回って町長より交付させていただきます。
2 委 嘱 状 交 付	三好町長による各委員への委嘱状の交付を行う。(委員14名)
3 町 長 挨 拶	皆さん、こんにちは。何かとお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、本審議会委員をお受けいただきまして感謝とお礼を申し上げます。今年に入りまして非常に天候に恵まれており、私の記憶では、今の時点での雪の量がこれほど少ないのは初めてではないかという位です。全国的には気象変動が厳しいところもございますが、わが町は降雪量も3mちょっと、積雪も30cm程度です。この後3月を残しますが、大雪にならないければ非常にスタートとして良い年ではないかと思えます。わが町も少子高齢化、人口減少が進み、新聞でも去年の国勢調査によると5年間で848人少なくなっているという状況が報じられています。町としても何とかこれに歯止め

	<p>をかけようといういろいろ対策を考えてきている訳ですが、なかなか思うような効果は出ていません。しかしながら、まち・ひと・しごと総合戦略ということで、国から示された事業展開をするべく、新年度予算については、それに係る部分も入れながらやろうとしているところであります。今回、第5期総合計画が平成28年度で終了いたします。その上、まち・ひと・しごと総合戦略、来年度に29年度からの第6期総合計画を作らなければならない時期に来ています。町の指針である総合計画を作りながら、それに沿って長期見通しを作り、そして町民の方と一緒にまちづくりをしていくべきと考えておりますので、総合計画を策定しながら、いろいろな事業展開、町としてはいろいろな計画を持っております。それらを抱き合わせしながらやっていかなければなりません。一番肝心なのはやはり町の総合計画だと思っておりますので、これから委員の皆さんにいろいろご意見をいただきながら、また、意見を出し合っていていただいて、これからの南幌町はどうあるべきかご審議をいただければありがたいと思っております。地理的条件等々、非常にいい場所にあつて、発展が無いという訳にはいきませんので、皆で協働のまちづくり、夢のあるふるさとづくりへと向かっていければと思います。いろいろのご意見を多くの皆さまからいただいて策定をさせていただきたいと思っておりますので、その事をお願い申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
4 委員等の紹介	各委員から自己紹介をいただいた後、事務局の紹介を行う。
5 会長、副会長の選任 事務局	<p>私から資料に基づいてご説明させていただきます。議案6ページをお開き下さい。6ページには南幌町総合計画策定審議会条例がございます。第4条は、「審議会には会長及び副会長1名を置く。」、2項に「会長及び副会長は委員の互選によって定める。」3項に「会長は会務を総理し、審議会を代表し、その会議の議長となる。」、4項に「副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。」となっております。こちらの第4条に基づく選任についてお願いしたいと思います。</p> <p>※三好町長が仮議長となり司会進行を行い、会長及び副会長の選出方法について委員に諮る。</p>

町 長	この会に会長・副会長を置かなければなりませんので、その方法について皆さんにお諮りをいただき、ご発言をいただきたいと思ひます。どのような方法で選出したいかお伺ひします。
委 員	事務局に一任するということではいかがでしょうか。 委員の案が承認され、事務局に一任される。 事務局案として、次の委員を推薦し、承認される。 会 長 ：佐々木委員、 副会長 ：小松委員
6 審議会への諮問	三好町長より佐々木会長に諮問文を手交する。 (終了後、三好町長と小林副町長は公務により退席。)
事務局	ここで、会長、副会長にご挨拶をいただきたいと思ひます。まず、会長からよろしくお願ひします。
会 長	先ほど、審議会会長という大役を預かったわけですがけれども、わからないこともたくさんあるかと思ひます。審議会に關しましても初めての委員ということになります。先ほど町長からもありましたとおり、本当に最近、人口減少等の問題に關する話題が凄く多くござひます。その中で、皆さんそれぞれが「南幌町を良くしたい」、「南幌町の為に」という心がけを持ってここに來られていると思ひますので、多く議論を重ね、審議を進めて、総合計画を作り上げたいと考えておりますので、一つご協力をよろしくお願ひします。
事務局	続きまして、副会長よろしくお願ひします。
副会長	私は審議会委員を数回経験してはいるんですがけれども、身が瘦せるような思ひであります。総合計画を基にまちづくりがなされるということですから、良い計画ができるように頑張っていきますので、よろしくお願ひいたします。 (以降、佐々木会長により進行)
7 趣 旨 説 明	事務局より議案 3 ページ、「諮問の趣旨」、4～5 ページ、「南

	<p>幌町総合計画策定条例」、6～7ページ、「南幌町総合計画策定審議会条例」、8～12ページ、「第6期南幌町総合計画の策定に向けて【方針】」について説明する。</p> <p><質問・意見> 質問意見等無し</p> <p>8 配布資料の説明 事務局より議案13ページ、「委員配布資料一覧」について説明する。</p> <p>9 協議事項 (1) 会議の運営について 事務局より議案14ページ、「会議の運営について(案)」を説明。運営方法について事務局案が承認される。 ※日程調整に係る開催時間については、平日の午前または午後を基本とすることです承をいただいた。</p> <p>10 次回の日程 次回会議の日程については、4月中に開催することとし、後日別途日程調整を行うことを確認する。</p> <p>事務局 本来ならばもう少し早い時期にこの会議を開催する予定だったんですが、大変申し訳ございません。町長からお話がありましたが、1年間かけて協議を進めていくこととなります。勿論、各課職員や、職員間でのプロジェクトチーム等、職員サイドでも検討して参ります。我々、審議会の中でも、出来上がったものを報告して意見を求めることもあるんですけども、それよりも先ほど皆さんに自己紹介していただいたとおり、いろいろな立場、分野の方がいらっしゃいますから、意見をいただけたらと思います。我々の気が付かない視点からの意見をいただくことが、一番期待しているところでもあります。さすれば、職員は実績がある事業を継続する選択をしたがります。変える為には住民の皆さんの意見も必要になるからです。財源等厳しい面もありますが、皆さんの忌憚のない意見をいただいて、それを職員へフィードバックしていくのが我々事務局の仕事になります。第2回の審議会は4月中に開催するというので、もちろん早めに日程調整をさせていただきます。皆さんお忙しいと思いますが、その際になかなか15人となると、意見が出し辛いという部分もごございます。やはり、委員の皆さん同士のコミュニケーションを取っていただきたい部分もごございます。4月の2回目の審議会</p>
--	--

	<p>の時には、こちらからの説明もごさいますが、例えば5人ずつの3グループ、小グループに分かれていただいて、テーマを持った形になると思うんですが、そこで忌憚の無いご意見、それぞれ考えていらっしゃる「まちづくりはこういうものじゃないかな」という意見を出していただく機会を設けたいと思います。改めて2回目の開催の時には、日程調整の上、ご案内させていただきたいと思いますのでよろしくお願いたします。</p>
<p>会 長</p>	<p>私の方から言いにくい部分もありましたが、事務局の方から口火を切っていただいたので、せっかくですし皆さんの本音でしゃべっていただきたいと思います。やはり、職員の方は耳が痛いと思うことも、本当の町民の考えを、このまま南幌町の将来はこれでいいのかという部分もやはり皆さんに言っていただきたいと思います。そのくらい大事な今回の第6期総合計画になるのではと思います。皆さんには忌憚の無いご意見を言っていただきたいと私の方からもお願いさせていただきます。小グループでやって、皆さんがご意見を出して行く形で進めて行きたいと思いますので、気持ちがかもった意見が聞けるんじゃないかなと思います。力の無い会長かもしれませんが、皆さんからのご意見を集めてこの計画を作っていかなければならないと考えております。</p>
<p>1 1 そ の 他</p>	<p>事務局より、議案15ページ、「委員専用シート」、議案16ページ、「委員の連絡先及び振込口座等の把握」について説明。</p>
<p>会 長</p>	<p>全体を通して皆さんの方から何かございますか。</p>
<p>委 員</p>	<p>今、説明があった「委員専用シート」ですが、この意見はいつの時点から出すことができるんでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>随時受け付けています。また、基本は委員一人の意見という形でもいいんですが、共有するということが私たちは大切だと思っています。委員の皆さんから「こういう意見が出ていたんですけどどうですか」という形でお願いしたいです。通常であれば会長あるいは事務局にということで全然構わないのですけれど。一般的な「こういう資料が欲しい」等の意見はどんどん出していただければと思います。会議の進め方ですとか、一番多いのは「出席はできないんだけど、今度のテーマの時はこの意見</p>

<p>委員</p>	<p>を出したい」といった形で出していただいています。書き方、内容に関して質問等があれば事務局まで言っていただいてもいいです。会議の進め方等であれば電話でも構いません。</p> <p>今までにもこういう会議等に出ているんですけど、会議の場で個々の意見を出すのは、非常に大変です。それが生かされることもまずありません。最近の場合は事務局の資料を整理してまとめて説明し、少しの意見交換で大抵の場合決まってしまう。私がこういう委員会に出たくないのはどうせそんなものかなという気がしているからです。しかし、南幌町は自分がこれから住んでいかなければならない町です。それを考えると、やっぱりきちんとした審議会の背景から「どうしてこういうものが必要か」ということから始まって、ここに依頼がかかってくるということをきちんと知る。要はデータ化されたものを知りたい。というのは例えば人口減少と言われていますが、「南幌町は将来こういう年齢の人がどのくらい減る」「こういう年齢の人が毎年何人欲しい。またその理由はこうだ」という明確な指針を持って、例えば「一年間に10名、若い30代の人をここに呼びたい」という目標を明確に持つというのを委員会の中で決めようというのはまず不可能です。あらかじめ、こういうものが必要だ。こういう資料が欲しいという希望を出して行こうと。そうじゃないと皆、人口減少と一言で言いますが、南幌町は今後何年間でどのくらい人口が減って、それに対して町の予算がどのくらい減少するのか。自治体の将来像を明確にして、それに対してどうしていくのかということをはっきりさせないと、抽象的な言葉だけではまちの皆が納得するのかなど。私は納得できません。ですから、あらかじめこういう資料が欲しい等の希望を最初から出していきたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>わかりました。もしそれであれば、多分皆さんの欲しがる書類が、委員それぞれで違うと思います。総合計画に必要な書類で提供できるものはお出しをするというのが原則です。ただ、お時間がかかったり、作るのにデータが無い場合もございますので、難しい部分はあるかもしれません。次は小グループに分かれて話し合ってくださいますが、他の町を見ても色々な会議の進め方があります。少しでも皆さんからの意見を大事にしていきたいので、小グループで住んでいてお気付きになる「南幌にこういうものが足りない」という話し合いをまず一回やりたいと考えて</p>

<p style="text-align: center;">委員 12 閉 会 会 長</p>	<p>います。それ以降、本格的に協議する形にしていくので、次回の会議の後に出していただいても遅くは無いと思います。例えば今、地方創生推進会議で総合戦略の策定を進めています。それは次回の会議で皆さんにお示しさせていただきます。まずは次回こういう意見を持っているということをお話ししていきたいので、それ以降に本格的な審議になると思います。それでもという場合は事務局まで言っていただければと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">わかりました。</p> <p>それでは第1回南幌町総合計画策定審議会を終了させていただきます。皆さんお疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--	--